2026 年 11 月 27 日
一般社団法人日本損害保険協会　九州・沖縄支部

# 第３回九州減災シンポジウムに出展

## ～タブレットや白地図で地域安全マップを作成し、来訪者には内水ハザードマップを提示～

日本損害保険協会九州・沖縄支部（委員長：谷口　徹　損害保険ジャパン株式会社 常務執行役員）では、11 月 14 日（土）に福岡市博多区にあるＮＣＢホールで開催された「第３回九州減災シンポジウム（※）」にブースを出展しました。同シンポジウムは、九州における自然災害リスクについて、広く発信し、防災・減災について考える機会として開催されました。

当会のブースに来訪した子どもたちと地域安全マップを作成するとともに、保護者を含めた来訪者には福岡市内の内水ハザードマップを提示して、危険な個所を確認してもらい、災害の被害軽減に向けた啓発を行いました。

マップを作成した子どもたちからは「通学路を確認して、危ないところがわかった」などの発言があり、保護者からは「内水氾濫のリスクを改めて認識することができてよかった」などの気づきの声がありました。

九州・沖縄支部では、関係機関や教育機関とともに、地域の安全、安心の向上に資する活動を実施してまいります

（※）同シンポジウムは九州大学、九州地方整備局、福岡管区気象台、国土地理院九州地方測量部等を構成機関とした九州減災シンポジウム実行委員会が主催、九州大学アジアオセアニア研究教育機構、国立大学協会九州地区支部会議 防災・環境ネットワーク部会、建設コンサルタンツ協会九州支部が共催、福岡県、福岡市、福岡市教育委員会、九州防災連絡会が後援しています。




ブースの様子



使用したハザードマップ




博多駅内サイネージ